

科目区分	専門教育科目	科目名	子どもと玩具		科目コード	20Y660	担当者	織田 芳人			
対象学生	幼児教育学科 2年生	学期区分	前期		単位数	1	担当形態	単独			
		授業区分	演習								
科目		施行規則に定める科目区分又は事項等				卒業要件	選択				
						免許・資格要件	幼稚園教諭選択必修、保育士選択必修				
科目の主題						学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
子どもの学びや成長に役立つ玩具について理解を深め、子どもが手作りできるおもちゃの製作に必要な材料や用具、技法を修得する。						1. 「良心」 誠実な人柄と 人間力	2. 「創造」 高度な知性と 創造力	3. 「実践」 明確な意思と 実践力			
科目の到達目標						① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 思考力・判断力・創造力	⑤ 実行力・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	保育に役立つ玩具について理解する。										
2.	子どもによる手作りおもちゃの製作に必要な技法に基づいて、材料や用具を適切に扱うことができる。										
3.	おもちゃ製作に関する保育指導案を構想することができる。										
4.							△	◎	◎	○	
5.						成績評価の方法と割合					
授業方法						定期試験（20%） 提出物（40%） 発表内容（20%） 受講態度（20%）					
課題等への対応						授業外学修時間					
提出された作品等は評価した後、返却する。						各回の予習または復習に30分をあてる。					
回数	授業計画					学習課題（予習・復習）					
第1回	授業計画の説明、玩具の語義を学ぶ					玩具の語義について調べる（予習）					
第2回	日本における玩具の歴史を学ぶ					日本の玩具の特徴をまとめる					
第3回	西欧における玩具の歴史を学ぶ					西欧の玩具の特徴をまとめる					
第4回	西欧における教育玩具の歴史を学ぶ（1）					教育玩具の特色をまとめる（1）					
第5回	西欧における教育玩具の歴史を学ぶ（2）					教育玩具の特色をまとめる（2）					
第6回	子どもに適した玩具の材料と安全性について学ぶ					玩具の材料と安全性の関わりをまとめる					
第7回	紙によるおもちゃ製作①					おもちゃ製作の過程をまとめる					
第8回	紙によるおもちゃ製作②					おもちゃ製作の過程をまとめる					
第9回	紙によるおもちゃ製作③					おもちゃ製作の過程をまとめる					
第10回	おもちゃ製作に関する保育指導案の作成①					指導案の骨子を構想しておく（予習）					
第11回	手工教育の歴史を学ぶ					手工について調べる（予習）					
第12回	実材によるおもちゃ製作①					おもちゃ製作の過程をまとめる					
第13回	実材によるおもちゃ製作②					おもちゃ製作の過程をまとめる					
第14回	実材によるおもちゃ製作③					おもちゃ製作の過程をまとめる					
第15回	おもちゃ製作に関する保育指導案の作成②					指導案の骨子を構想しておく（予習）					
試験	定期試験を実施する										
教科書	なし					受講生へのメッセージ ・製作に必要な材料・用具は個人負担です。準備して授業に臨んでください。 ・製作の時は汚れてもよい服装等を各自心がけてください。					
参考書等	永田桂子（2007）『よいおもちゃとはどんなもの？』チャイルド本社 樋口正春（1991）『子育てにおもちゃを』エイデル研究所										